

## ナバラ大学（スペイン）

### ・ Spanish grammar

スペイン語の文法に関する講義

Initial、intermediate、advanceのレベル分けがあり、私はintermediateのクラスにいます。Intermediateの中でもさらに二分割され、20人の少人数で講義を受けています。スペイン語の集中クラスで行っている内容とリンクすることが多いので、双方のクラスをうまく生かしながらスペイン語を身に着けていきたいです。

### ・ Spanish (B1.1)

後期前半のスペイン語集中講義

週4回×6週間で行われる集中科目で、15人ほどの少人数で行われます。前回のA2クラスから一つレベルが上がり、より文法や会話の精度がさらに求められるようになりました。私はまだ十分なボキャブラリーがなく、スペイン語を話す脳の回転もまだ遅いと感じるので、集中講義だからこそ毎日の復習を欠かさず行いたいと思います。

### ・ Spanish (B1.2)

後期後半のスペイン語集中講義

こちらも同様、週4回×6週間で行われる集中科目で、15人ほどの少人数で行われます。

### ・ International security policy

国際関係論をもとに安全保障や国際関係を分析する講義

50人ほどの聴講クラスと30人ほどのワークショップ型の講義が週に2コマ行われます。個人的にリアリズムやリベラリズムなどの概念を学ぶのがとても苦手なので、毎回の講義スライドや先生の話していることをしっかりと理解することが大変です。この講義では中間テスト

（15%）、期末テスト（50%）、エッセイ（15%）があるので、一つ一つの試験が重要になります。単位を落とさないようコツコツ予習復習を行っていききたいと思います。

## フライブルク大学（ドイツ）

変わらず授業内容はレベルが高く、ついていくのに必死ですが、最初よりは授業の流れの理解ができるようになったのではと思っています。

1つの授業でグループプレゼンテーションの課題があり、授業の40分をそのグループが仕切って進めるというようなものでした。私はドイツ人の2人と同じグループになり、発表のため、何度か集まってどのようなことを発表し、主張するか、そのような時間構成にするかなどを決めました。英語のレベルが彼女たちの方が上だということもありますが、比較的ドイツ人の学生は真面目で自分の意見をしっかり持っており、それをしっかりと相手に伝えることが上手であると何度も感じます。日本だとどちらかという周りの空気を読むことが重視されるというか、そのような感じがあるので、文化的な違い？のようなものがみられて面白かったです。そのおかげで準備がとてもスムーズに進んで、発表も無事終わることができました。彼女たちのような自分の意見を伝える姿勢は、自分に足りない部分でもあると思うので、ぜひ見習いたいです。

授業内で発言する場面もありましたが、最初に比べて、緊張せずにしゃべれるようになったと少しだけ成長を感じました。他のクラスメイトの発言を聞いていても、完璧に英語をしゃべるといより、伝えることに重きを置いているので、それを見て、ゆっくりでも文法的に間違っても自分の言いたいことを伝えられればそれで良いのではと思うようになり、そこまで緊張しないようになりました。足りないものは自分の意見を伝えるための語彙だと思うので、さまざまな語彙を身につけられるようにしたいです。

## ベネチア大学（イタリア）

ヨーロッパに来てから、歴史的な建造物や絵画を見る機会が非常に増えました。その都度、「歴史的な背景をもっと知っていたら、もっと楽しめるのかな」と感じることがあります。ヨーロッパ観光においても、世界史を知っていることの重要性を強く感じるようになりました。ですので、1月になり、時間ができたので、主に世界史の本を読むことに取り組んできました。こうすることで、自分が住んでいるベネチアが西洋の歴史において重要な役割を果たしていたことを知ることができました。また、街中で歴史的な建築物を見る時も、今までとは異なる視点で見るように心掛けるようになりました。例えば、以前は単に青空を眺めるようなものでも、今は「なぜその建物が建てられたのか」「どのような人たちがそこで生活していたのか」といった視点で考えられるようになりました。

## 長庚大学（台湾）

今月は自由な時間を利用して様々な都市を訪れたのですが、その中でも印象に残っている都市の一つが高雄です。高雄には台湾人の友達の地元であり、案内してくれるということで初めて訪問しました。大学からは片道3-4時間かかってしまうためなかなか行けなかったのですが、ついに訪れることができうれしかったです。同じ台湾国内でも私が通っている大学がある街桃園とは気候が大きく異なり、冬でも最高気温28度に達するなどまるで別の国に来たかのように感じました。

高雄市内では、友達が市内の名所をバイクで連れて行ってきて、限られた時間でたくさんの魅力を発見することができました。台湾は南の方へ行くほど古い町並みが残っているほか、台湾語と呼ばれる中国語の方言のような言語を使う人が多いなど、台湾文化をより強く感じる事ができると感じました。高雄への訪問を通じて、台湾の新たな一面を知ることによって台湾をより好きになるとともに、友人と共通の思い出をつくってより仲を深めることができ、貴重な時間を過ごすことができました。

## ウィーバー州立大学（アメリカ）

今学期は秋学期よりも忙しくなりそうです。春学期が始まって1か月たちましたが、今はなんとかついていけています。Introduction to Translationのクラスは3000番台のクラスなので、少し今の自分よりもレベルが高いです。でも、少人数のクラスでクラスメイトも優しく、内容も興味があることなので楽しくクラスを受けることができています。また、私は自分が好きな踊りのクラスを二つ受講していて、毎日体を動かすことができ一石二鳥だと思っています。加えて、横浜市立大学では取ることができないクラスなので、留学ならではの経験ができています。一月末には、初めてテストセンターで受けるテストがあり、緊張もしましたがなんとか乗り越えられました。これからたくさんの課題が出る予定ですが、頑張っていきたいです。

## ヤゲウォー大学（ポーランド）

レポートやプレゼンテーションを全て英語で行うため、ちゃんと自分の考えを伝えられているのかなど不安になってしまうことが多く、精神的にも大変な時期でした。焦りや不安を感じる中で、夜の数分間だけでも音楽を聴いたり、日本語の小説を読んだりすることで、リラックスすることができたので、音楽や本など自分を落ち着かせられるものを持つことの大切さを感じました。

また、日本にいたときは、お米中心の生活をしていたので、こちらでのパンやパスタ中心の食生活に少し飽きていましたが、年末に家族に持ってきてもらったお米のおかげで、食生活におけるストレスが減りました。